

病気の予防してますか？

予防接種のススメ

予防接種は、インフルエンザだけ！または予防接種なんてしてないよ！
って方いらっしゃいませんか？

大人にも受けていただきたい予防接種はたくさんあります！
接種に助成金が出るものもありますので確認していきましょう！



そもそも「予防接種」って？

予防接種とは、感染症の原因となる病原体に対する免疫ができる体の仕組みを使って、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くしたりするために、ワクチンを接種することをいいます。免疫ができることで、その感染症にかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりするようになります。

定期接種と任意接種

定期接種：法律で接種を推奨しているワクチン。定期接種は決められた回数・間隔・年齢（時期）・場所で受けることで、公費負担（無料）や助成を受けられます。

任意接種：予防接種法には規定されていない場合や、定期接種のワクチンを対象年齢以外で受ける場合が任意接種。接種の費用は基本的に全額自己負担です。（費用は医療機関によって異なる）
接種できる年齢や回数、摂取量はワクチンによって決まっています。

ワクチンの種類

生ワクチン	不活化ワクチン	トキソイド
生きた細菌やウイルスを繰り返し培養するなど、病原性が弱くなったものを選別して作ったもの	細菌やウイルスを、ホルマリン処理などによって毒性をなくしたもの	細菌が作る毒素を、ホルマリン処理などによって毒性をなくしたもの
帯状疱疹 風しん 麻しん 麻しん風しん混合 水痘 おたふくかぜ 黄熱 BCG <p style="text-align: right;">など</p>	13 価結合型肺炎球菌 23 価莢膜ポリサッカライド肺炎球菌 帯状疱疹 インフルエンザ A 型肝炎 B 型肝炎 狂犬病 <p style="text-align: right;">など</p>	ジフテリア・破傷風混合 DPT-IPV 成人用ジフテリア 破傷風
2 回接種推奨	2 - 4 回の定期接種 + 追加接種	

予防接種一覧

※神戸市の情報（2024年4月1日時点）をもとに掲載しています。補助金が出るのは、神戸市と契約している医療機関のみです。詳細は各QRコードから、ホームページをご覧ください。

肺炎球菌感染症



肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。何らかのきっかけで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

【定期接種】65歳、60~64歳は条件あり。

【費用】4000円

带状疱疹



体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数できる。50歳以上の方に発症が多くみられる。生ワクチンと不活化ワクチンがある。

【任意接種】50歳以上

【補助金】4000円（上限）



子宮頸がん（HPV）



主にウイルスの感染が原因となり子宮の入り口にできるがんのこと。自覚症状が現れることなく進行していくという特徴があります。

【定期接種】小学校6年生～高校1年生

※1997年4月2日～2007年4月1日生まれかつ、過去にHPVワクチンの合計3回の接種を完了していない方も対象（2025年3月31日まで）

【費用】自己負担なし

風疹



急性の発疹性感染症で感染力が強い。妊娠初期（20週以前）に感染すると赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくるリスクが高くなります。妊娠中の方にうつさないためにも、予防接種が大切です。

（2025年3月31日まで）

【定期接種】

- ①1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性
- ②下記いずれかに該当する方で抗体価の低い方
 - A)15歳以上42歳の妊娠を希望する女性
 - B)Aの同居者のうち抗体価が低い方
 - C)抗体価が低い妊婦の同居者のうち、抗体価が低い方

【費用】①自己負担なし ②2500円（上限）の補助

昨今いろんな情報が出回ることありますが、ワクチンは怖い物ではありません。病気にかからないように、かかったとしても症状が軽くなるように、予防接種を受けることが大切です。自分を守るだけでなく、家族や周りの方を守ることに繋がります。助成なども活用しながら、病気予防していきましょう！



また、予防接種だけではなく、手洗い・うがい・マスクは感染予防に有効な手段です。新型コロナが5類になってから疎かになっていませんか？感染症はコロナだけではなく。健康に過ごすためにもワクチンと合わせて日頃からの防御が大切です。

病院は体力や抵抗力が低下した方がおられます。受診や面会等で来院される際は、手指消毒・マスク着用のご協力をお願いします。

諸般の事情により、新発見新スマはvol.9をもちまして、しばらく発行をお休みさせていただきます。過去号については、引き続き病院ホームページに掲載しておりますので、ご覧いただくと幸いです。ご愛読ありがとうございます。

2024.4発行 新須磨病院 制作：檜垣亜里彩